



サタスク通信



『サタスク通信』第92号

2015年3月21日(土)

発行：サタスク事務局

連絡先：080-5594-6723

satasuku@gmail.com

<http://satasuku.okoshi-yasu.net/>

永

春到来！！

今年の札幌の冬の天気は雪が少なく、そしてあったかいです。家の周りには雪が溶けて、もう春が来ていることがわかります。春の訪れとともに、サタスクを卒業してしまう友達やボランティアさんがいます。あたらしい場所に行っても元気で、友達をつくってください。たまにはサタスクに来て活動に参加してくれるとうれしいです。

2月21日(土) 体育室遊び

男の子、女の子一緒になってボール遊びやケイドロをして遊びました。2月の寒い中、元気よく遊ぶみんなが楽しそうでした。



2月28日(土) 外遊び

今年初めての外遊び。毎年恒例(?)、大島さんを雪の中に埋めました。これには大島さんも白旗を挙げました。



3月7日(土) サタスク感謝祭'15

4年生の卒業企画サタスク感謝祭'15の様子です。体育室では紙飛行機飛ばしや型抜き、活動室1では綿あめ、ポップコーンを作って食べました。



3月14日(土) お楽しみ♥

今回の活動は前半に写真を切って看板の「サタデースクール」の文字を作りました。後半は面白い漫画とカプラを使って街づくりを行いました。今年度最後の活動、面白かったですか？



☆今後の活動予定☆

4月4日(土) 名札+スケジュール作り、自由遊び

4月11日(土) スライム作り

4月18日(土) 体育室遊び

4月25日(土) 春のパフェづくり

※詳細は後日郵送のお便りでご確認ください。

※体育室遊びの日は、タオル、飲み物、上靴等を用意してください。

※黒字の日は勉強の時間があります。勉強道具をお忘れなく！

☆ボランティアより☆

こんにちは。サタスク1年目4年生の曾雌弘平です。富士山の近く山梨県出身です。大学での所属は農学部で、農業機械を専攻しています(農学部なのにネットを締めたりパソコンに向かったりする日々を過ごしています)。修士課程への進学を予定しているのでこれからもお世話になります。よろしくお祈りします。さて、いよいよ新年度が始まります。新しい学年、新しい環境何かとわくわくがいっぱいですね。皆さんは新年度をどのように過ごしたいと思いますか？個人的には計画的な行動ができるようになりたいと思っています(卒論の反省ですが)。それでは新年度もサタスクをよろしくお祈りします！！

卒業生からのメッセージ

まなざし

竹内 康司

僕が子どもだった頃の話をしよう。そのおじさんは僕が物心つく前から、たびたび僕の家に入り出ていた。親戚のおじさんではないけれど、僕の祖父と仲良しで二人で楽しそうにウィスキーを飲んでた。おじさんが来る日の夕方は決まってケンタッキーの詰め合わせを持ってきてくれる。だから僕はケンタッキーおじさんと呼んでいた。

おじさんの職業はよくわからない。ある時は作業着を着て溶接をしていたり、ある時は大きな植木ばさみをもって近所のお庭の剪定をしていたり、ある時は田植えや稲刈りをしていた。おじさんは器用な人で僕に色々なことを教えてくれた。クワガタの捕まえ方や川釣り、ボートの漕ぎ方などのアウトドアから麻雀や花札の遊び方を教えてくれた。僕がふざけていたずらをしてもおじさんは叱ったりしなかった。子どもながら大目に見てもらえる許容範囲をわきまえていたので、おじさんはそんな意図を理解していると感じていた。

だから僕は学校の先生よりもおじさんが好きだった。当時、僕の通っていた学校の担任はヒステリーを起こしたみたいにおめいていた。宿題を忘れたとかつまらないことで当事者の生徒を皆の前で非難していた。ある日、学校で友達と喧嘩して、こっぴどく先生に叱られて家に帰ってくると、おじさんが自転車に乗ってやってきた。悔しくて涙で濡れた僕を見ておじさんは僕に優しく声をかけてくれた。

「あっち向いてホイっ」

人差し指を右に示しながらおじさんは微笑んでいた。

「こうじくん、辛いことや悲しいことはあるかもしれんけど、そんな時はあっち向いてホイだ。悲しい気持ちに流されんで、反対方向を向いてごらん」

僕の頭を撫でておじさんからケンタッキーの香ばしい匂いがしていた。

4年間サタデースクールというボランティア活動に携わっていく中で、僕は自分自身が幸福に思える瞬間を感じた。人は誰かを幸せにしたいと思って初めて幸せになれるものかもしれない。

誰かと一緒にいるということの何よりの効用はその誰かの笑顔や喜びに直接触れられることだろう。(白石一文「幻影の星」p90：文春文庫)

毎週土曜日のいつもの時間に元気な子どもたちの声を聞くと、雑多な学生生活の中で忘れかけていたことを思い出し、ほっと落ち着くことができた。時にはハプニングもあったけど、目を閉じれば陽だまりのような笑顔と歓声が思い起こされる。優しい時間は僕の中に、そしてサタデースクールに携わる人々の中にこれからも流れ続けることを祈って、別れの言葉をつぶやく。

ありがとう。どうか、お元気で。